

NEDO先導研究プログラムにおける 2026年度VIPワークショップの開催に係る分析調査

公募説明会

2026年3月27日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
フロンティア部 先導研究ユニット

はじめに（公募要領より）

【応募要件】

応募資格のある法人は、次の（1）～（3）までの全ての条件を満たすことのできる、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等です。国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりませんのでご注意ください。

- （1）当該技術又は関連技術の調査実績を有し、かつ、調査目標達成及び調査計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- （2）委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- （3）NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。

【受付方法】

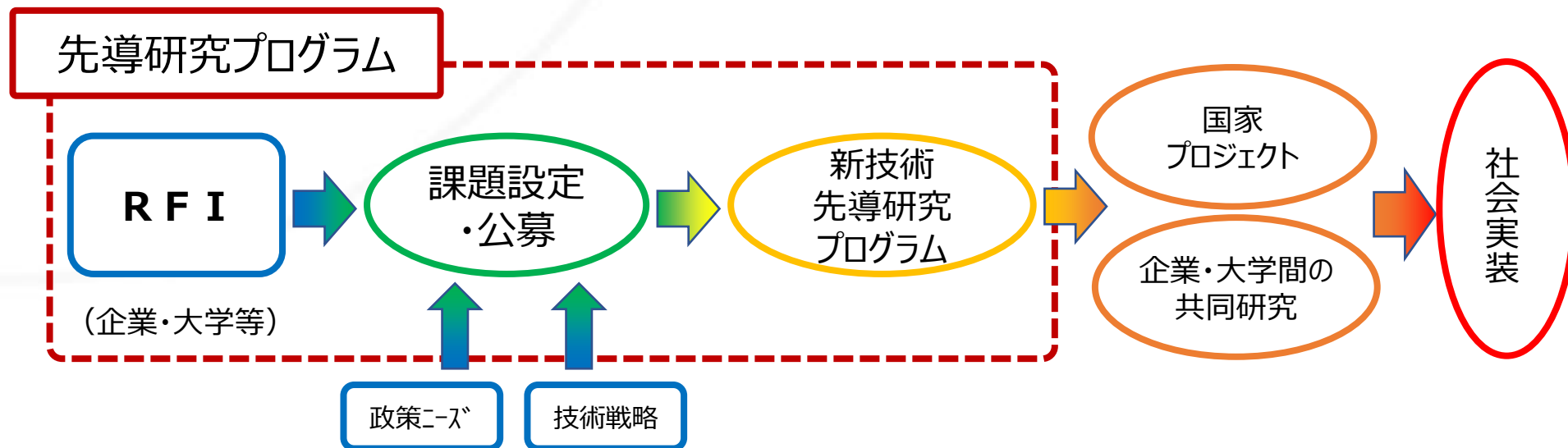
本公募は、**電子申請システム「Jグランツ」**で応募を受け付けます。また当該申請システムを通じて行われた申請に対する採択・不採択結果についても、原則として当該申請システムで通知等を行います。

Jグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「**GビズIDプライムアカウント**」又は「**GビズIDメンバーアカウント**」が必要です。GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。GビズIDが無いと本事業への応募ができませんので、十分留意ください。

【受付期間】 2026年3月23日(月)～**2026年4月8日(水) 正午**まで

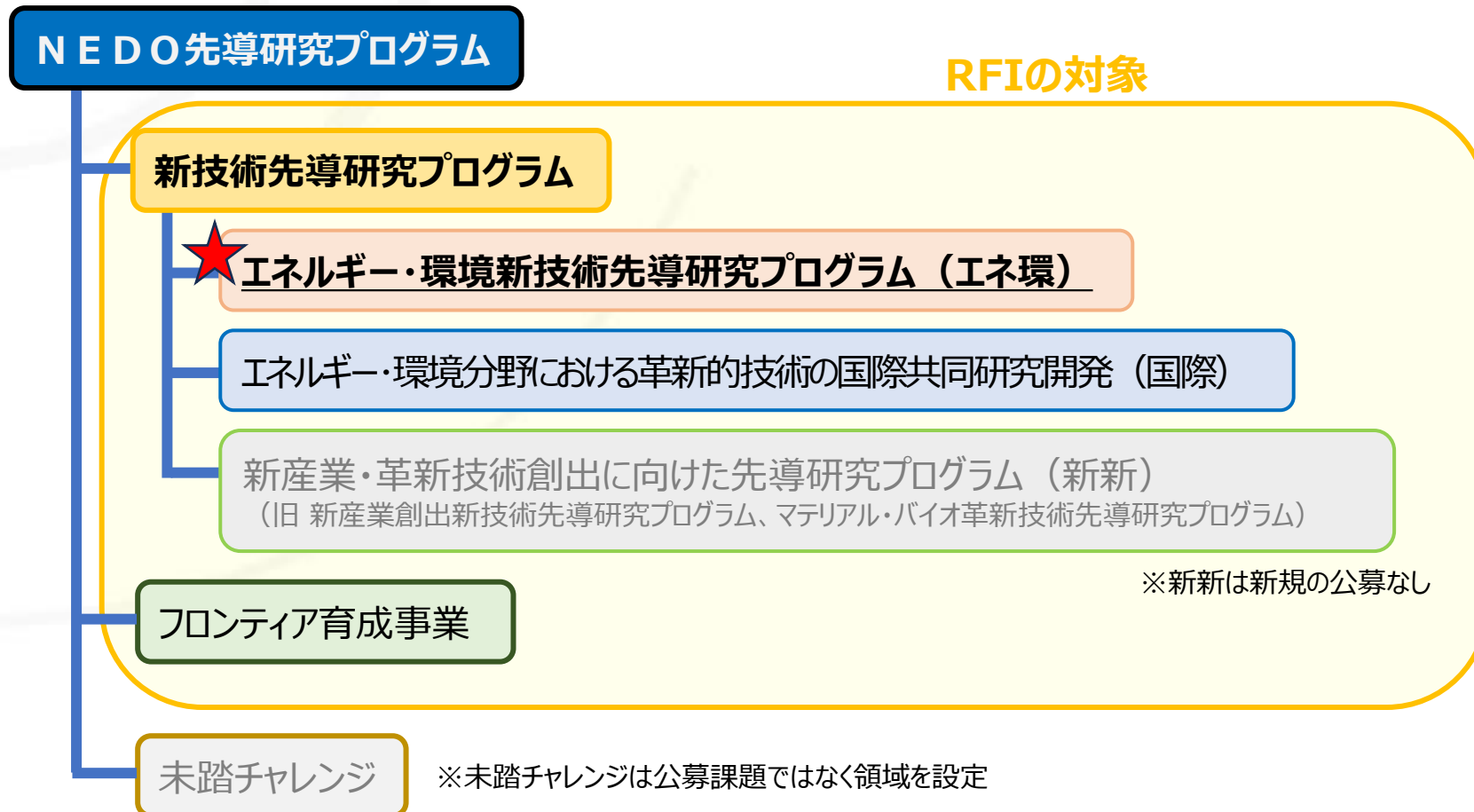
NEDO先導研究プログラムの事業概要

- ◆ NEDOでは、脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、エネルギー・環境分野、産業技術分野において、2040年以降（先導研究開始から15年以上先）の実用化・社会実装を見据えた**革新的な技術シーズ**を発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげていくことを目的として、**先導研究プログラム**を推進しています。
- ◆ 先導研究プログラムでは、公募における技術課題を設定、NEDO技術戦略や他事業・制度の検討等に活用するため、**情報提供依頼（Request For Information : RFI）**を行っています。



本調査事業のスコープ

本調査事業のスコープ **★を主対象とします**



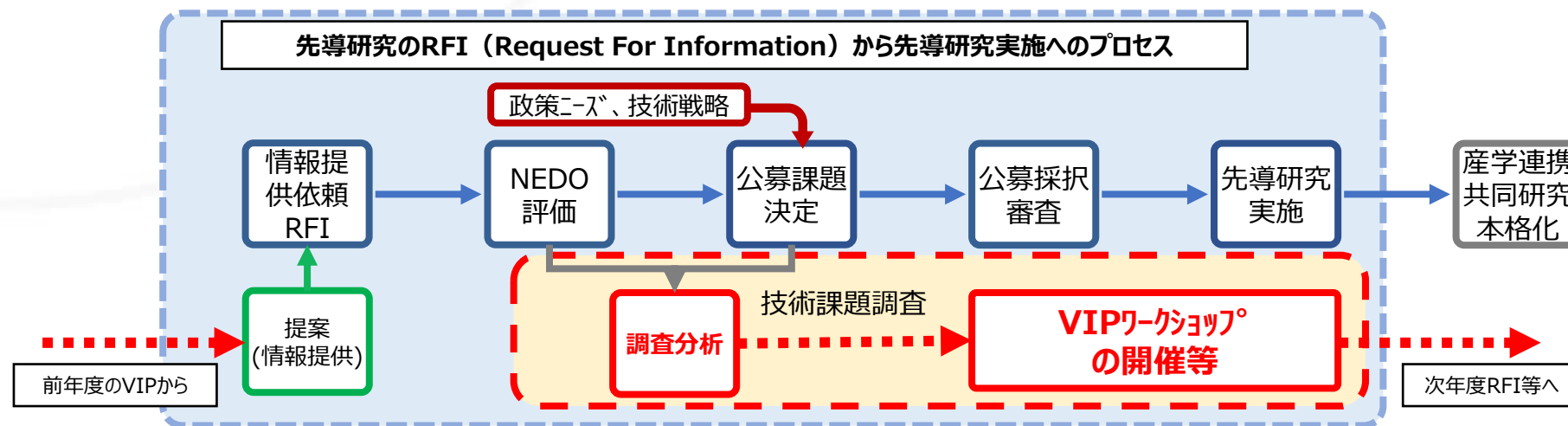
本調査事業の目的

◆ 調査の目的

- ・先導研究におけるRFI等の内容分析により、技術開発課題の設定につながり得るシーズ発掘を支援する。
- ・技術シーズの熟成、協創のトリガーとしてのワークショップを開催し、提案者へのF/Bを支援する。
- ・ビジョナリー・インキュベーション・プログラム（VIP）※の定着に向け、プロセスの高度化を図り、2040年以降の社会実装の実現に資する有望な技術シーズのRFI提案を一層促すことを目指す。

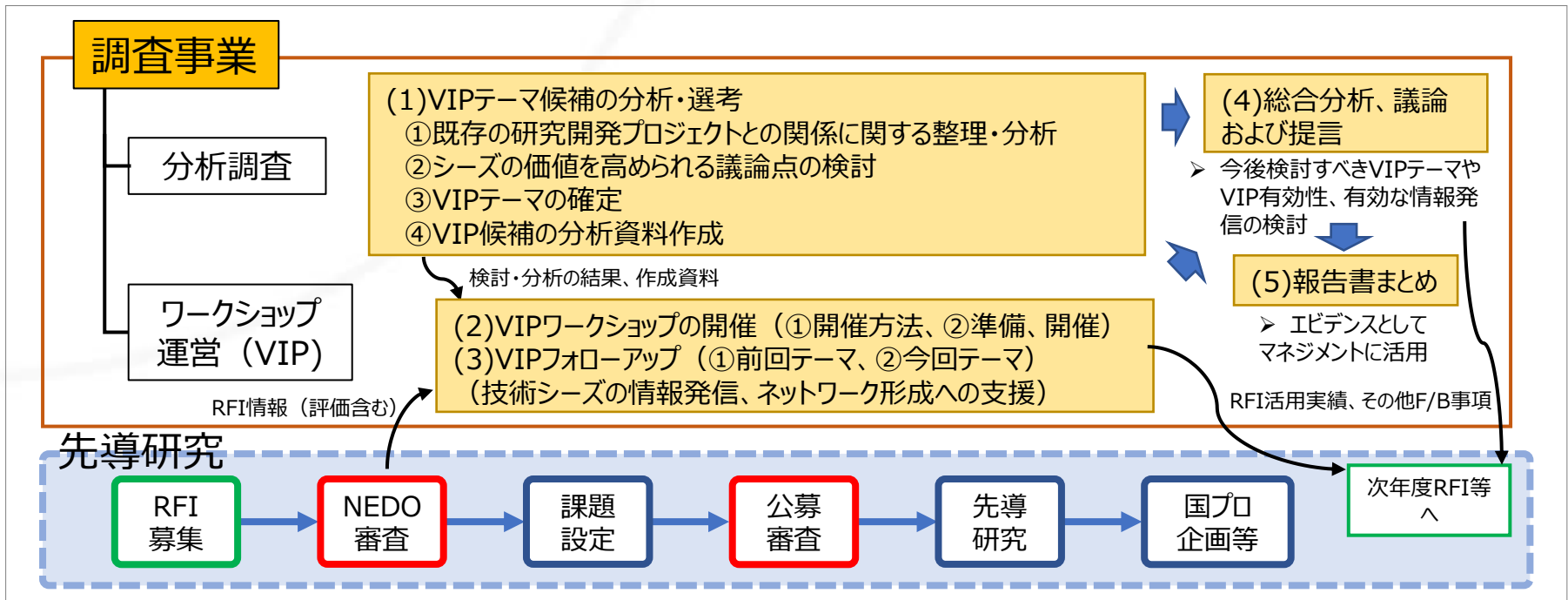
※ ビジョナリー・インキュベーション・プログラム（VIP） について

先導研究プログラムにおいて、現時点で公募課題の対象とすることが難しいテーマであっても、コミュニティを広げることが有望と思われるテーマについて、ワークショップの開催等による支援により、提案する研究者がワークショップ参加者との議論を深め、当該技術シーズに基づくビジョンを具体化していくもの。RFI等からNEDOが抽出した技術シーズに関するワークショップ等を開催し、技術シーズの熟成、協創のトリガーとして、情報発信や交流の機会を作り、提案者を支援する。



本調査事業の概略

- ◆ 本調査では、RFI等により提出された技術シーズから、VIPテーマの候補となる案件について分析し、シーズの価値を高められる議論点の検討等を行います。
 - ◆ 分析、検討の結果を踏まえ、ビジョナリー・インキュベーション・プログラム（VIP）ワークショップの開催を支援します。
 - ◆ さらに今後検討すべきVIPテーマの分析と提案、VIPの有効性等についての考察や改善策についての提言を分析・検討し報告としてまとめます。
- 調査期間：N E D O が指定する日（4月下旬）から 2026年8月31日まで
 - 予算額：2,000万円以内



本調査事業における調査項目について（仕様書より）

（１）VIPテーマ候補の分析・選考

NEDO先導研究プログラムのRFIにより提出された技術シーズについては、NEDO内にて公募課題の選考過程で評価（RFI評価）している。これをもとにVIPの対象として絞り込んだ技術シーズをテーマ候補（VIPテーマ候補）とする。このVIPテーマ候補について、適性確認を行う。

- ・2025年度実施のRFI（RFI提出数は総数で400件程度）を基に、**適性確認の対象候補をNEDOと協議の上で確定する。（40件以内と想定）**
- ・NEDOのRFI評価については、主に先導研究の事業フェーズに見合う技術課題として採用できるかの観点で行っている。RFI評価軸については、以下の通り。

（RFIの評価軸の概要）

- ・研究内容：技術課題の指標が明確か、新規性、革新性、優位性があるか。
- ・社会実装のイメージ・インパクト：社会的メリット、省エネ効果、CO2削減効果、経済効果等が大きいか。
- ・政策、先導研究の事業目的との合致
- ・総合評価

・VIPテーマ候補の選考については、NEDO先導研究プログラム（新技術先導研究プログラムの内、エネルギー・環境新技術先導研究プログラムを対象とする）の技術課題設定過程において、「課題化に至らなかったが、VIPにおいてより議論を深めたりコミュニティを広げたりすることで、アイデアを熟成させることができるテーマ」であるか等の観点から、候補を絞りこむものとする。

本調査事業における調査項目について（補足）

＜事業開始後にNEDOから提供予定の情報について＞

- ・NEDOが所有する2025年度実施RFIに関するデータ等の情報
- ・VIPの対象として技術シーズの絞り込みやNEDO推進部のVIP活用希望に関する情報

RFIで取得される情報について（2025年度の例）

- 「① 研究開発テーマ名」
- 「② 達成すべき技術課題」
- 「③-1 技術・事業分野、技術・事業分野の小項目番号」
- 「③-2 フロンティア領域（該当する場合）」
- 「③-3 フロンティア領域に関連する技術分野（該当する場合）」
- 「④-1 国の戦略」
- 「④-2 技術成熟度（TRL）」
- 「⑤-1 先導研究の内容（技術的な問題点と解決手段）」
- 「⑤-2 研究開発テーマの革新性」
- 「⑤-3 研究開発テーマの従来技術や競合技術に対する優位性」
- 「⑤-4 代表的な論文や出願特許等（該当する場合）」
- 「⑥ 社会実装のイメージ・インパクト」
- 「⑦類似する研究開発プロジェクト（該当する場合）」
- 「⑧ 既提案先部署名（該当する場合）」
- 「⑨-1～5 国際共同研究に関する情報（該当ある場合のみ）」
- 「⑩ NEDO VIPワークショップの活用（任意）」 および、情報提供書補足情報

RFIの具体的なフォーマットや内容については、公募ページからご確認ください。
■ 2025年度「NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム及びフロンティア育成事業」に係る情報提供依頼（RFI）について
https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00092.html

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

（１）VIPテーマ候補の分析・選考

①既存の研究開発プロジェクトとの関係に関する整理・分析

VIPテーマ候補について、技術シーズの技術分野や技術成熟度（TRL）に基づき整理するとともに、関連する既存の研究開発プロジェクトとの関係を、RFIの情報提供書の補足情報「情報提供する内容と関係する研究開発の実施状況」等を参考に分析し、下記Ⅰ～Ⅳの分類にまとめる。

さらに、今後の展開として、既存の国プロの中の新規領域に加えることや、新規国プロの組成の検討ができる、という利点が見いだせるか候補の確認と検討を行う。

	分類	VIPの対応方針
Ⅰ	既存技術や国プロ等の具体的な技術領域・研究テーマに関連し位置づけられる。	検討対象に含めない
Ⅱ	既存技術や国プロ等の技術領域に係わるが、新規研究テーマである。	技術の革新性等の評価を行う
Ⅲ	既存技術や国プロ等で扱っていない新たな技術領域である。	事業性評価を行う
Ⅳ	既存技術や国プロ等で扱っていない産業領域・技術領域である。	市場性評価を行う

☞RFIの整理分析にあたっては、RFI全案件でなく、絞られた候補の適正分析を行う方針として効率化する。

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

②シーズの価値を高められる議論点の検討

VIPテーマ候補については、「①既存の研究開発プロジェクトとの関係に関する整理・分析」の分類による対応方針に基づき、分類のⅡ～Ⅳと評価される案件について、シーズの価値を高められる議論点がないか検討すると共に、以下に例示する観点から分析を行う。

（分析の観点の例示）

- ・用途/ニーズの具体性
- ・技術の汎用性、広がりの見通し
- ・市場規模、インパクト
- ・組合せ技術及び組合せ効果
- ・支援の方向性（資金規模、ベンチャー/スタートアップ系支援か、国プロ向きか等）
- ・産業界からの呼び込み効果

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

③VIPテーマの確定

VIPテーマについては、スケジュールを踏まえたうえで、NEDO内での公募課題化に向けての検討を基礎に、前記の検討を加味し協議の上、**今年度実施するVIPワークショップの案件と、今後VIPで継続して扱いを検討する案件とに分けるものとする。**

その際、（2）項に記載する、ワークショップの参加者が多く見込めるような事前情報（例として期待する技術分野、聴講したい分野等）についても可能であれば参考とする。

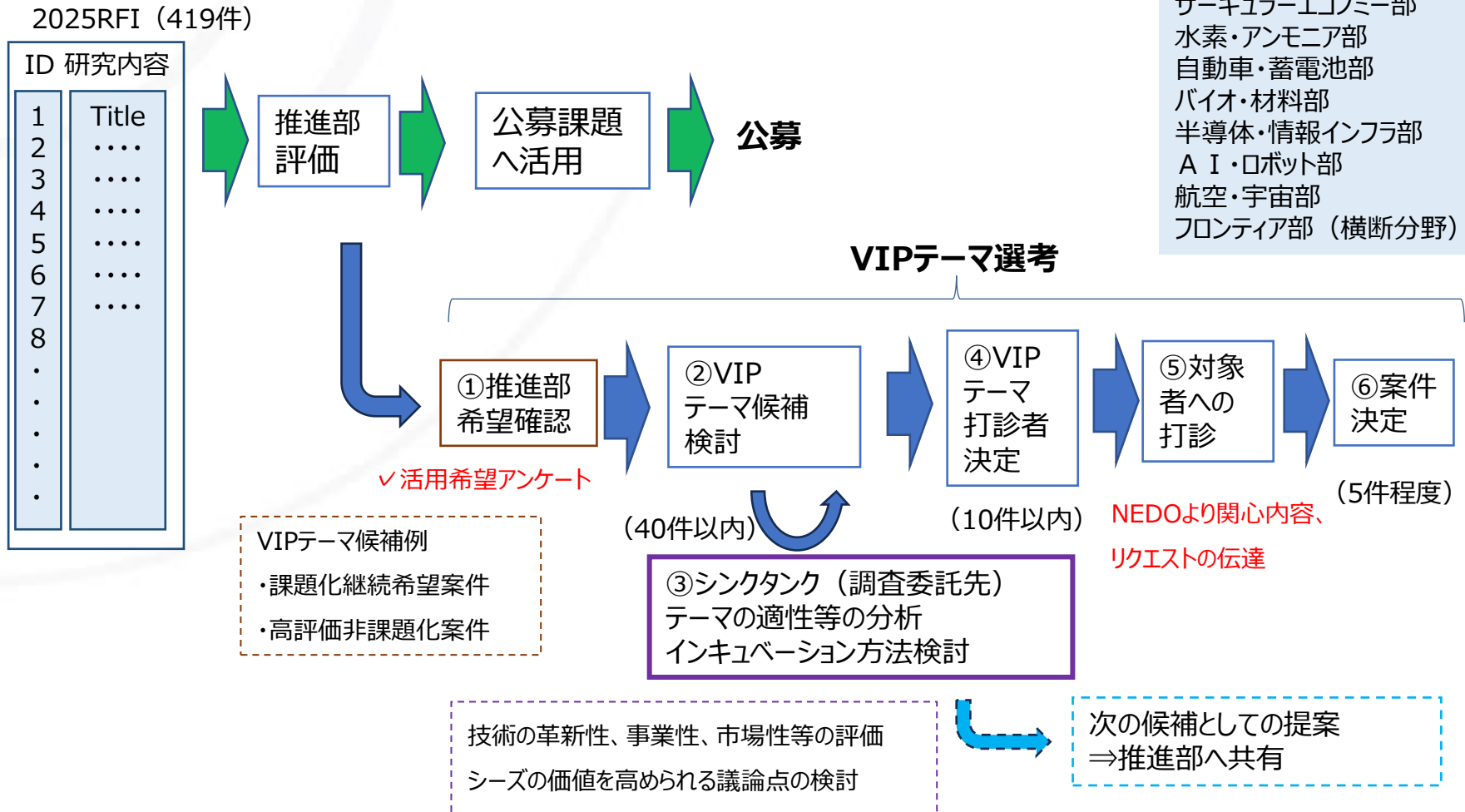
・今年度実施するVIPワークショップの案件については、本調査公募の時点でNEDO内のプロジェクト推進部署より数件のVIPワークショップの活用希望候補を得ていることから、これを基礎に案件検討を行う。検討後、NEDOから該当案件のRFI提出者へワークショップへの参加意向を確認し、確定案件とする。参加意向の確認を打診する件数は10件以内を想定する。
また、発表登壇者の参加意向も踏まえ、最終的な実施案件数は5件程度とする。

・今年度のVIPワークショップ対象案件とならず、VIPで継続して検討すべき有望案件については、今後検討すべきVIPテーマとしてまとめ、（4）総合分析において、NEDOへの提案事項に含めるものとする。

本調査事業における調査項目について（補足）



～VIPテーマ選考の流れ～



本調査事業における調査項目について（仕様書より）

④VIPテーマの分析資料作成

VIPで議論を行う事前検討資料とするため、「②シーズの価値を高められる議論点の検討」を踏まえ、VIPテーマについて深掘した分析シートを作成する。対象の技術課題の背景となる技術動向を分析するため、技術論文等の情報を調査し、特に世界の動向や日本の相対的ポジションについて把握できるように補足情報を収集する。調査に当たってはNEDOイノベーション戦略センター（TSC）が発信している調査報告等も活用し、効率的に進めること。

・分析シートを作成するVIPテーマは「③VIPテーマの決定」で打診する案件を含めること。（件数は10件以内を想定している。）

👉VIPテーマの深掘り。

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

（２）VIPワークショップの開催

RFI情報提供者である産学研究者が、保有する当該技術シーズについての情報発信とネットワーク形成を加速することを支援するため、VIPワークショップを開催する。ワークショップではRFI提出者および関係者による発表と、参加者による技術課題の共有と議論を行う。

ワークショップの開催にあたっては、アドバイザーとなる有識者を参加させることで、研究者に対してフィードバックし、次回以降の情報提供依頼（RFI）提案につなげるよう支援する。技術シーズを保有する産学研究者が主体的に情報発信やネットワーク形成に取り組めるように、効率的、効果的な手法を提案すること。

また、一般聴講者に産業界からの参加が多いことを鑑み、今後のマッチングにつながる産業界からの呼び込み効果の観点から、**参加者が多く見込めるような方法**を提案すること。（例として、期待する技術分野、聴講したい分野等の事前情報をSNS等のソーシャルメディアの活用により取得するなど）

・技術分野の指定に関しては下記を参考とする。（VIPの対象は、新技術先導研究プログラムの内、エネルギー・環境新技術先導研究プログラムを想定している。）

「NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム及びフロンティア育成事業」に係る
情報提供依頼（RFI）について

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00092.html

添付スライド資料「情報提供書Web入力フォーム説明書」p3-5

<https://www.nedo.go.jp/content/800027971.pdf>

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

【開催準備について】

VIPワークショップを支障なく開催できるようNEDOと役割分担を定め、協力して計画、準備すること。

- ・想定トラブルと対処法についてあらかじめ計画を作成の上、運営マニュアルを整備しNEDOの了承を得ること。
- ・当日の進行状況をモニターし運営に反映できるよう体制を整えること。

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

【開催方法について】

開催の方法（**原則ハイブリッド開催**とする）は、NEDOと協議の上、決定する。会場はNEDO高輪ゲートウェイオフィス（2026年4月から運用開始）の利用を基本（日程確定次第、NEDOで確保）とするが、必要が生じた場合はNEDOと協議の上、近傍（川崎や東京都心など）の会議室を確保すること。また、当日資料準備、開催日程調整、関係者への各種連絡、議事録作成、有識者への交通費／謝金支払い等（必要と判断される場合）を行うこと。参加者はNEDO関係者、官庁関係者、連携機関、発表登壇者、およびその関係者、その他の有識者、一般聴講者（NEDOがホームページ等でイベント開催の案内する）からなる。

・技術シーズ件数：5セクション（開催5日）、5件程度

（参考例：2023年実施：6セクション（開催6日）14件、2024年実施：4セクション（開催4日）5件、2025年実施：5セクション（開催5日）8件）

・**開催時期は2026年7月初旬を想定する**。なお、2026年度のVIPワークショップ開催は、2026年度の情報提供依頼（RFI）の実施時期（例年7月から8月）にかかることが見込まれることから、NEDOが行っている情報提供依頼（RFI）の説明会とのコラボレーションについて可能な範囲で行う可能性がある。

・有識者については必要性を検討の上、NEDOの指示に基づき構成メンバーの選定。（3名程度までを想定）

・一般聴講者の参加する公開パートと、限定参加者による非公開パートを設けること。一般聴講者の参加方法について、議論の活性化の観点から効率的、効果的な手法を提案すること。

・参加者募集、開催連絡にあたってはNEDOと効率的な方法について協議の上、連携して行うこと。

👉VIPワークショップの開催にあたっては、参加者増の方法を検討する。

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

（3）VIPフォローアップ

① 前回発表テーマに対するフォローアップ

2025年実施したVIPワークショップでの発表テーマを対象に、ワークショップの開催を経た後の取組に関するアンケートを行い、RFI提出者が得られた助言や指摘の有効性、他の参加者からのコメントやコンタクトなどの有益情報等の有無を把握する。結果を取りまとめるとともに、今後のVIPワークショップ開催に向けた改善点等についても検討する。

② 今回開催のVIP発表テーマに対するフォローアップ

今回開催するVIPにおいて発表を行う産学研究者や参加者に対するアンケートを実施し、その結果を取りまとめること。

助言や指摘等のフィードバックの有効性、他の参加者からのコメントやコンタクトなどの有益情報等の有無を把握する。特に発表者や参加者の行動変容の観点から、開催の有効性につながる結果が得られたか取りまとめるとともに、今後のVIPワークショップ開催に向けた改善点等があれば検討する。

過去のVIPワークショップ情報は、以下のURLより確認可能です。

開催について：https://www.nedo.go.jp/events/SM_100001_00051.html

開催報告について：https://www.nedo.go.jp/events/report/Z2MS_00021.html

※アンケートについては、NEDOと協議の上、必要最小限の内容とします。

本調査事業における調査項目について（仕様書より）

（４）総合分析、議論および提言

NEDO先導研究プログラムにおける未来像、戦略の実現、先進的な研究開発を加速度的に促進する取り組みの観点から総合分析を行い、専門家やステークホルダらの意見を踏まえ、提言としてまとめる。

今後検討すべきVIPテーマとして、「（１）VIPテーマ候補の分析・選考」で検討し、今年度のVIPワークショップに含まれない有望案件については、分析結果と考察を提案にまとめること。

VIPの実施ケースについては、有効なインキュベーションプロセスについて分析し、有効性の評価や、定着に向けての改善策等をまとめる。

また、次回以降のRFI募集に際して、RFI提出者へのフィードバックとして有効な発信情報に含めるべき内容（RFIの活用実績が一例）があれば検討し提示する。

- ・必要により有識者（産業界、学術、国研等）ヒアリングを行い、情報を補足すること。

👉 今後検討すべきVIPテーマとして、「（１）VIPテーマ候補の分析・選考」での検討を追加。課題化をより意識したインキュベーションプログラムとしての役割に期待。

VIPの定着に向けて、先進的な研究開発を加速度的に促進する取り組みについての提言を期待。

本調査事業における報告書等について

➤ 報告書の取りまとめ（3項（5））

調査内容を、成果物として報告書（和文）の形に取りまとめる。必要に応じて、検討会議等の場において進捗等を報告（適宜）するほか、最終報告会を開催する。

報告書には公開部分と非公開部分を設ける。非公開部分にはヒアリング等の議事録、NEDOへの提言等を含める。

・事業終了時（2026/8月末）：調査報告書（成果報告書）

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステム（PMS）による提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

➤ 報告会等の開催（7項）

委託期間中又は委託期間終了後に、調査事業成果報告会における報告を依頼することがある。

➤ その他（8項）

仕様書に定める事項については、随時NEDOと調整の上実施する。また、仕様書に定めなき事項については、NEDOと実施者が協議の上で決定することとする。

提案書類、提出方法について（公募要領より）

1. 提案書類の様式

提案書の記載に当たっては、提案書の様式（別紙1）を参照し、日本語で作成してください。
委託事業の手続き（約款及びマニュアル）もご覧ください。

調査委託契約標準契約書、契約約款

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2025_3yakkan_chousa.html

2. 提案書類の提出方法

提出書類
別添1：提案書
別添2：提案者情報
別添3：ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
別添4：NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス
直近の事業報告書 直近3年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書）

【提出先】J Grants 公募ページ申請URL

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDXvnMAH?wfid=a0XJ2000006ilHAMAY>

スケジュール（予定）

<公募決定>

2026年3月23日（月） 公募開始

2026年3月27日（金） 公募説明会（本日）

2026年4月8日（水） 正午 公募〆切

（延長時4月14日（火） 正午〆切）

2026年4月下旬～ 採択審査

2026年4月下旬～ 採択通知・事業開始

<調査事業>

2026年4月下旬～5月上旬 調査全体の実行計画の詳細協議

2026年8月31日（月） 調査事業終了、成果報告書提出

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
フロンティア部

E-mail : rfi-enekan[*]nedo.go.jp

上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください

※本公募の問い合わせは

締め切り1営業日前（4月7日（火）正午）までをお願いします。